

【地域の概要】

- 岐阜県の中心よりやや南部に位置し、4km四方のコンパクトなまち。
- 水稲が中心で、農家の高齢化が課題となっている。

①取組開始前の状況や課題

課題

- 農地利用状況調査の際に、紙の地図にて現地を確認していた。土地の地番や所有者を調べるのに手間がかかっていた。
- 不耕作地や遊休農地の写真を撮影するのに、委員のスマートフォンやカメラを利用しなければならない。

②取組内容

eMAFFアプリを活用し、現地確認をスムーズに

- 不耕作地や遊休農地を発見後は、タブレット端末を活用し、土地の地番や所有者を早期に特定し、事務局と連携して所有者へ通知等を行った。
- タブレットで現地を確認した際に周辺農地のデータ誤りを発見することができた。



現地とタブレットを見比べる委員

③今後の展開と方向性

タブレット活用を促進

- 各委員のタブレット活用がスムーズにできるように定期的に使い方に関する研修を開催する。
- eMAFFやタブレットの取扱についても注意喚起を研修時に行っていく。